

マツフジは『人』も輸入してる!?

※今回の記事は社長見習いが書かせて頂いております。

実は私も「輸入品」ならぬ「輸入人」
なのです^^

20年前前、私がソウルの梨泰院へイテウォンにある李朝家具を輸出する会社で働いていた頃、現社長はバイヤーでした。余程私が仕事が出来そうに見えたのでしょうか、社長にリクルートされたのをきっかけに松藤貿易株式会社に入社しました。当時は日本語が話せず、英語で社長と会話をしてました。当然日本の文化に関しての知識もなく、お風呂は自分が入った後綺麗にお湯を抜き、家に床暖房がないのを知った時もカルチャーショックを受けました。まず仕事よりも日常生活での日本語が必要でした。食べたいものが注文できるくらいまでにはなろう、と目標を決めたのを覚えています。言いたい事が言えず悔しくて泣きながら眠った夜もありました。今振り返れば、異国で心の支えになったのはいつも元氣な熊本のマダム達との会話でした。私は片ことで、マダム達は遠慮なしの熊本弁でしたが、会話は進みいつも励まされ、笑わされました。

20年後の今、熊本が大好きになり、松藤貿易の仕事も大好きです。お客様を大事にする社長を隣で見ながら、今やつとその深い意味が分かってきたような気がします。社長が若かった時、台湾で藤家具を輸入してた頃、自転車借りて台湾の田舎の工場を回り商品を仕入れてた話、その恩を忘れず今も台湾には足を向けて寝られないとの話も100回くらい聞いても、私にはその情熱はマネできるものではありません。ですが、少しは自分も成長しました(横幅も成長しました)。社長が開拓して、30年以上仕入れ続けているイタリアの下田舎の椅子工場に行くとき家族が20人程集まり、お家で夕食会を開い

てくれます。人の話を聞かない隣町の象嵌テーブル屋さんの頑張らない上にケチなガンバリニ社長とはいっても口喧嘩しますが、そのあとは工場近くのリストランテで美味しいランチを奢って貰ってます。

雑貨を仕入れる中国杭州近くのあの場所は、知り合いがいっぱい出来て、仕入れに回ると自分達のお店に連れて行かれ暑いのに白湯を出され、私が「氷水」と中国語で言っても向こうはそれは無いと言ひ爆笑する、そんな些細な楽しみがある場所も出来ました。

11月初旬、マホガニー家具工場のあるインドネシアの下田舎に独りで出張に行ってきました。3年ぶりの再会はお互い嬉しく、近況を聞きながら、お昼は村唯一の日本レストランに連れて行かれお寿司を勧められる優しさに改めて感動しました。今からの出張先で続くであろう感動もとても楽しみです。社長も私も目利きの鋭い熊本マダム達を唸らせる商品を一生懸命に探しています。

松藤新聞に印を付けてご来店下さるお客様、お電話でご注文を下さるお客様、ただ見に来たとよ、とおっしゃるお客様、本当にありがとうございます。社長の背中を追い、又色んなお客様からの特訓を生かし、頑張って参ります。本年は12月28日水曜日まで営業し、年明けは1月2日月曜日からの営業開始と致します。どうぞ皆さまのご来店をマツフジのみんなでお待ち申し上げております。



毎年大人気!!
2023年カレンダー
ポケット付き
引換券
数量限定
なくなり次第終了